



〈第四十四回〉

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けしますー。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし



長良神社は多くが利根川沿いに位置していますが、
鶉の長良神社は渡良瀬川に近い土地に位置しています

鶉の長良神社

鶉の鎮守様は長良神社です。長良神社は利根川沿いに多く存在しています。

ここ鶉はどちらかといえば、渡良瀬川に近い土地です。隣の中野も鎮守様は千原田の長良神社であります。

聞くところによると、昭和60年に板倉町で町誌を作るときの調べで、長良神社は板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、館林市、羽生市、野木町に大小の社を合わせて、57社を数えたそうです。ついでですが、長柄神社は4社でした。

このうち、邑楽・館林で利根川から遠い所は、ここ邑楽町鶉字東耕地、同中野字千原田、館林市日向字下、同高根字弓、同当郷などです。

調べでは水害の多い地域に祭られているようです。昔この地方を治めた藤原長良公の遺徳を慕って祭神にしたといわれています。

鶉茂木家文書によると、鶉の長良神社は万治2年(1659)村人が長良公の遺徳を慕って、邑楽郡瀬戸井村(千代田町)に祭られている瀬戸井長良神社の霊を、鶉村の中央で汚れない土地に勧請したと伝えられ、その折、瀬戸井の長良神社の御神木を頂いてご神体として奉斎したといえます。

ちなみに、瀬戸井の長良神社は古く、清和天皇の貞観12年(870)3月、大和国春日大社の末社(奈良市)に祭られた藤原長良公の御霊を、同年9月赤井良遠が勧請して佐貫庄の鎮守としたそうです。

ところで、鶉の長良神社の社殿は、鶉村名主茂木忠左衛門の時代に、氏子の人々の協力で改築されました。これは元禄8年(1695)で、棟梁は久保田村(足利市)の阿部久兵衛でした。

明治40年、同42年の2回にわたって地域内の神社を合祀したため、祭神は15柱となっています。

拜殿内には、文政3年(1820)や文久2年(1862)の絵馬をはじめ、明治以降に奉納された絵馬がたくさん掲げられています。また「嘉永6年春3月長良公祀」(1863)の横額も掲げてあります。祭礼は春は4月15日、秋は10月29日です。

邑楽町では狸塚、赤堀、中野、鶉の4か所に長良神社が祭られています。この地域一帯が、昔から長良神社を信奉した館林領主の勢力範囲だったことによるものと考えられています。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



水辺の夕暮れ
(多々良沼)

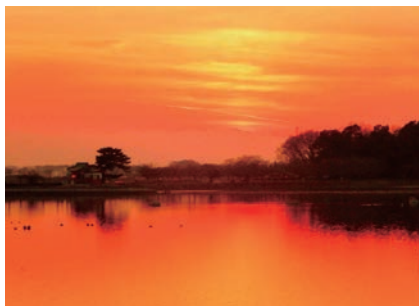


Photo 根岸定男(記録ボランティア)

ひとりごと From editors

▶新年正月といえば初詣。初詣といえば「おみくじ」。普段は神も仏も信じない！と強がっていても、この時ばかりはゲンを担いでみたくなります。できれば「大吉」を引いて気分よく新年のスタートを切りたいものです。▶ところで、このくじに書かれた運勢(吉凶)の数や種類は置かれている神社やお寺によってさまざまで、一般的には7種類(大吉、中吉、小吉、吉、末吉、凶、大凶)。多いとさらに細分化されて12種類なんていうところもあるようです。数や種類だけならいざ知らず、縁起の良い順番までさまざまとか(笑)。一つ皆さんも新年をおみくじで占ってみてはいかがですか？▶そうそう、私の性格は白か黒。つまり大吉が大凶どんと来い！ちなみに私は大樹です。(深澤)



この広報誌は、自然保護のため
植物油インキを使用しています。



この広報誌は、東日本大震災で被災した三菱
製紙のニューVマット紙を使用しています。

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードを
ご利用ください。読み取りができない場合は
URLをご入力ください。
携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>

